

品目情報

- 販 売 名：ソブリアードカプセル 100mg
- 一 般 名：シメプレビルナトリウム
- 製造販売業者：ヤンセンファーマ株式会社
- 効能・効果：セログループ 1（ジェノタイプ I（1a）又は II（1b））の C 型慢性肝炎における次のいずれかのウイルス血症の改善
 - 1) 血中 HCV RNA 量が高値の未治療患者
 - 2) インターフェロンを含む治療法で無効又は再燃となった患者
- 用法・用量：通常、成人にはシメプレビルとして 100mg を 1 日 1 回経口投与し、投与期間は 12 週間とする。本剤は、ペグインターフェロン アルファ-2a（遺伝子組換え）又はペグインターフェロン アルファ-2b（遺伝子組換え）、及びリバビリンと併用すること。
- 製造販売承認日：平成 25 年 9 月 27 日
- 販 売 開 始 日：平成 25 年 12 月 6 日
- 推定使用患者数：約 18,900 人（平成 25 年 12 月 6 日～平成 26 年 9 月 30 日）
- シメプレビルは、C 型肝炎ウイルスの複製に必須である NS3/4A プロテアーゼを阻害することで、C 型肝炎ウイルスの増殖を抑える。国内では、ペグインターフェロン及びリバビリンとの 3 剤併用療法が承認されている。
- 高ビリルビン血症：ビリルビンは、寿命を終えた赤血球中のヘモグロビンが脾臓等で分解されて生成する黄色色素成分。肝臓で代謝され、胆汁の主成分として胆管内に分泌され便中に排泄される。肝硬変、肝癌等による肝機能の低下や胆管の閉塞等により胆汁うっ滞が生じると、血中ビリルビン値が上昇し、黄疸等の症状が発現する。

シメプレビルは、ビリルビンの血管から肝臓への取り込みや肝臓から胆汁中への排泄に関わる輸送タンパク質を阻害することで、血中ビリルビン値の上昇を引き起こすと考えられている。